

入札条件

1. 本件入札に関し、入札に参加しようとする者（以下「入札参加者」という。）は、予算決算及び会計令（昭和 22 年勅令第 165 号）及び酒田市契約規則（平成 17 年規則第 58 号）に定める者に準じる他、本条件に定めるところによる。
2. 入札参加者の資格
次に掲げる要件を全て満たす者であること。
 - (1) 予算決算及び会計令第 70 条及び同令第 71 条の規定に該当しないこと。
 - (2) 酒田市建設工事等請負業者指名停止要綱に基づく指名停止を受けていないこと。
 - (3) 酒田市内に事業所を置いている者であること。
3. 入札参加者の代理人が入札に参加する場合は、入札開始前に委任状を提出しなければならない。
4. 入札参加者又はその代理人は、当該入札に対する他の入札参加者の代理をすることはできない。
5. 入札参加者又はその代理人の連合その他の理由により、入札を公正に執行することができないと認められるときは、当該入札参加者又はその代理人を入札に参加させないこと、入札の執行を延期すること、又は入札の執行を取りやめることができる。
6. 特にやむを得ない事情があると認められる場合を除き、次により取り扱うものとする。
 - (1) 入札室には、入札参加者、その代理人、入札執行事務に関係のある職員、又は立会い職員以外の者は入室することはできない。
 - (2) 入札時間までに入札室に参集しない者は、入札に参加することはできない。
 - (3) 入札参加者又はその代理人は、入札執行中、入札室を退室することはできない。
7. 次の各号の一に該当する入札は無効とする。
 - (1) 入札に参加する資格を有しない者が行った入札
 - (2) 記名押印を欠く入札
 - (3) 金額を訂正した入札
 - (4) 誤字、脱字等により意思表示が不明瞭である入札
 - (5) 明らかに連合によると認められる入札
 - (6) 前各号に掲げるものの他、入札に関する条件に違反した入札
8. 入札をした者は、入札後、物品の内容、契約条項及び入札条件等の不明を理由として異議を申し立てることはできない。
9. 落札者は、予約完結権を他に譲渡することができない。
10. 最低制限価格は設定しない。
11. 落札者は、落札決定通知又は契約決定通知を受けたときは、特別な事情がある場合を

除き、平成 31 年 2 月 18 日に契約を締結しなければならない。

12. 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の 100 分の 8 に相当する金額を加算した金額（当該金額に 1 円。未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額）をもって落札金額とするので、入札者は、消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積った契約希望金額の 108 分の 100 に相当する金額を入札書に記載すること。
13. 入札保証金は免除する。
14. 契約保証金は免除する。
15. 入札を辞退する場合は、次により取り扱うものとする。
 - (1) 入札執行の完了に至るまでは、いつでも入札を辞退することができる。
 - (2) 入札を辞退するときは、その旨を次の各号により申し出るものとする。
 - ア. 入札執行前にあつては、入札辞退届（任意様式）をファクシミリ又は郵送（入札日の前日までに到着するものに限る。）あるいは直接持参して行う。
 - イ. 入札執行中にあつては、入札辞退届（任意様式）又はその旨を明記した入札書を、入札を執行する者に直接提出して行う。
 - (3) 入札を辞退した者は、これを理由として、以後の指名等について不利益な取扱いを受けるものではない。
16. その他入札の執行に当たっては、その都度入札を執行する者の判断によるものとする。

◎1回で落札しない場合もありますので、2 回目以降に参加する場合は入札書用紙を余分に準備してください。